

## 安達太良山の火山活動解説資料（令和8年7月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1、図2、図3-①⑤）

若宮監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。鉄山監視カメラによる観測では、地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図3-②～④⑥）

地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図4、図6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（7月15日）

・若宮監視カメラ（沼ノ平火口の西北西約8km）の画像です。

噴気は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

今回の火山活動解説資料（令和8年8月分）は令和8年9月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています。

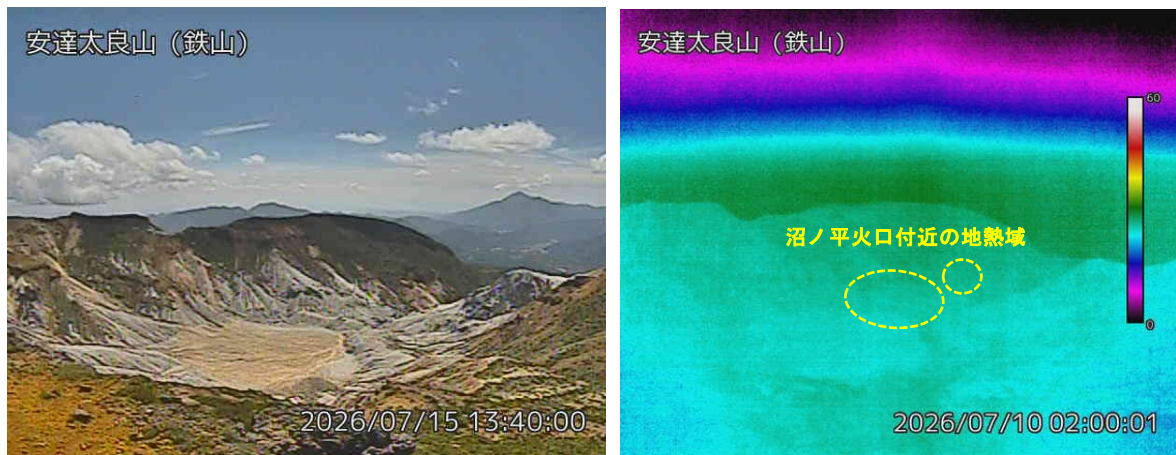


図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況と地表面温度分布の状況  
（可視：7月15日、赤外：7月10日）

・鉄山監視カメラ（沼ノ平火口の北東約700m）の可視及び赤外熱画像です。

噴気は認められず、沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

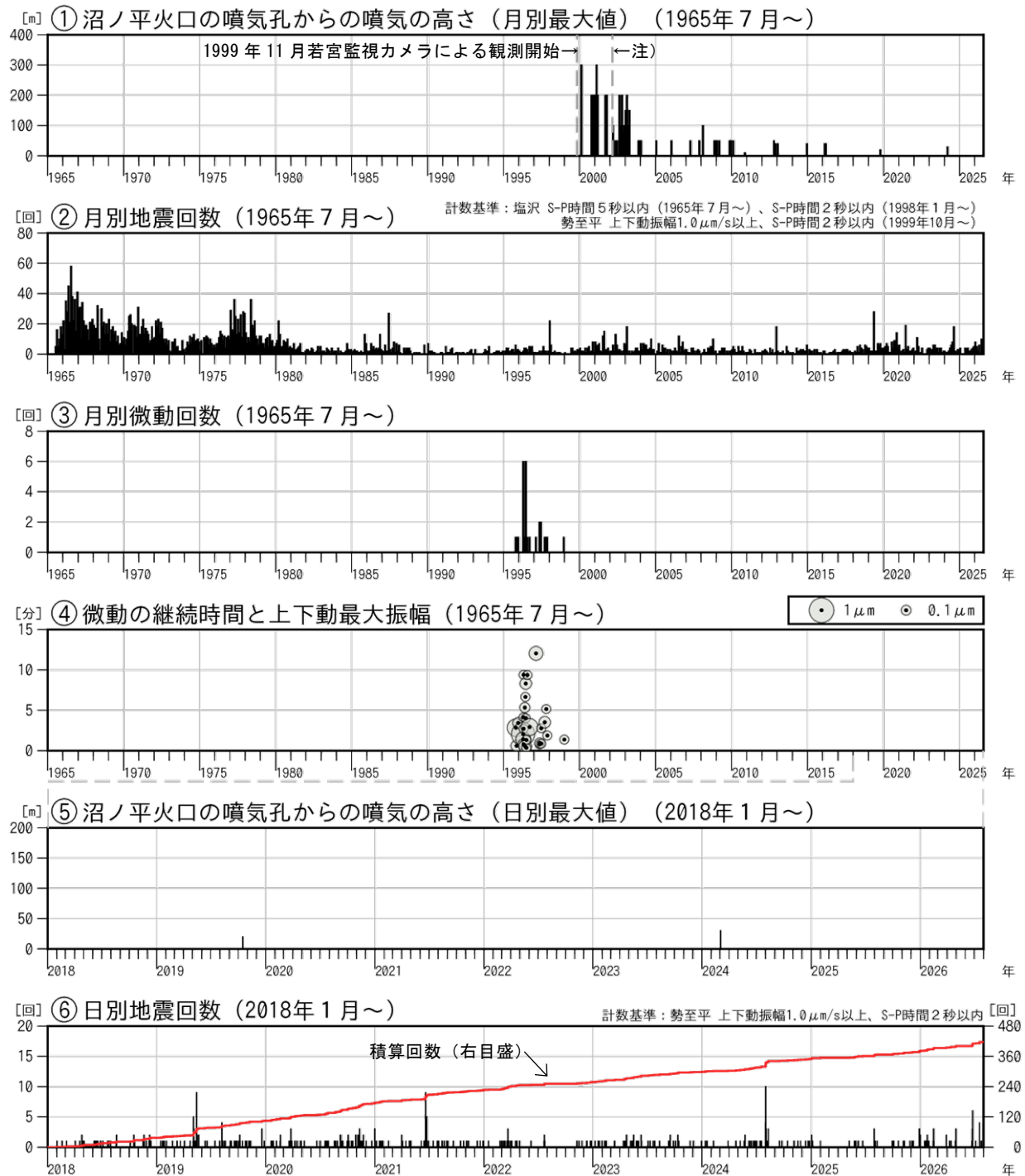


図3 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2026年7月）

注）2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、  
 2002年3月以降は24時間観測による高さです。

各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。

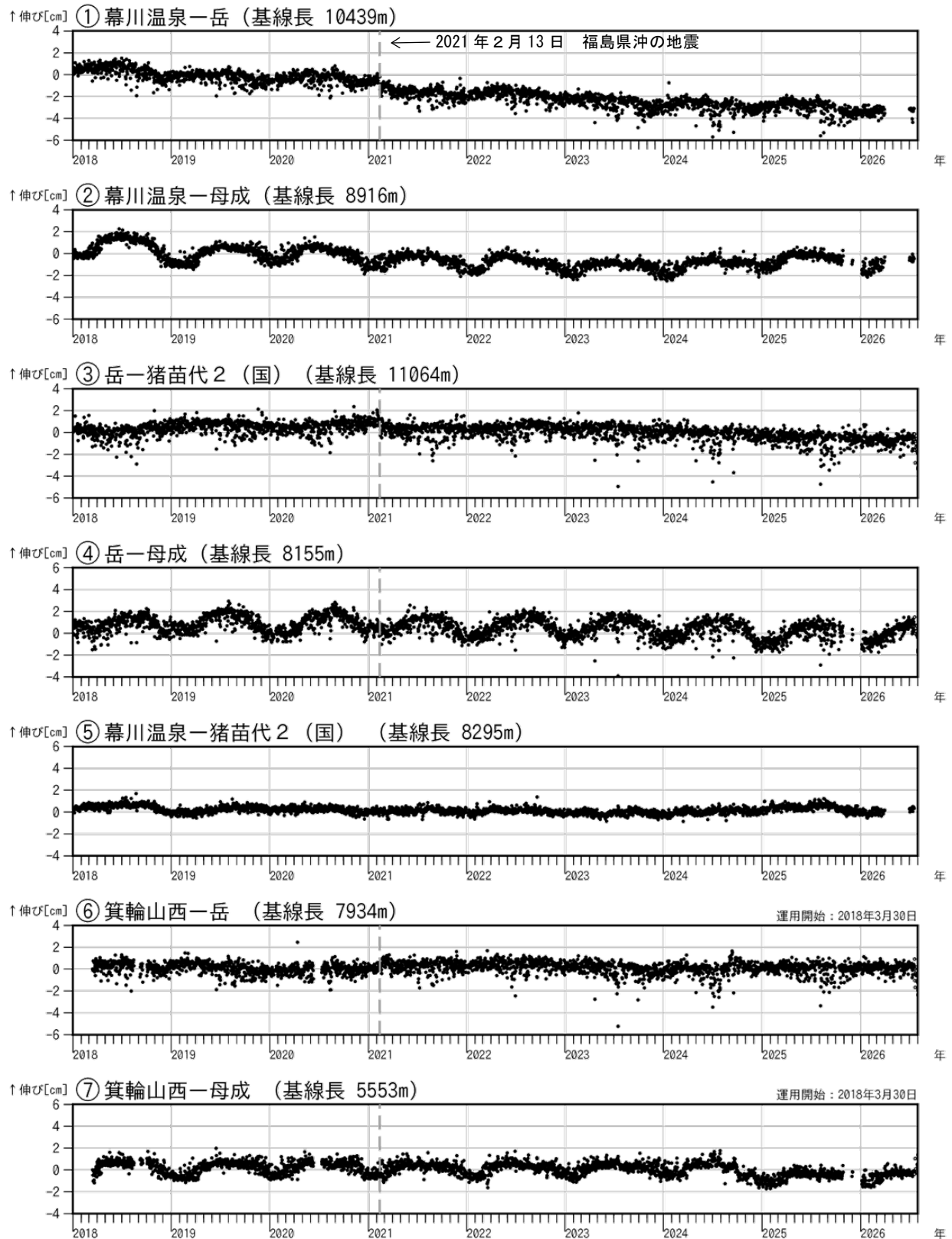


図 4 安達太良山 GNSS 基線長変化図（2018 年 1 月～2026 年 7 月）

- ・ 2021 年 2 月 13 日の福島県沖の地震に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～⑦は図 6 の GNSS 基線①～⑦に対応しています。
- ・ 空白部分は欠測を表しています。
- ・ （国）は国土地理院の観測点を示します。
- ・ システム更新に伴う調整中のため、一部の過去データにステップ状の変化がみられています。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

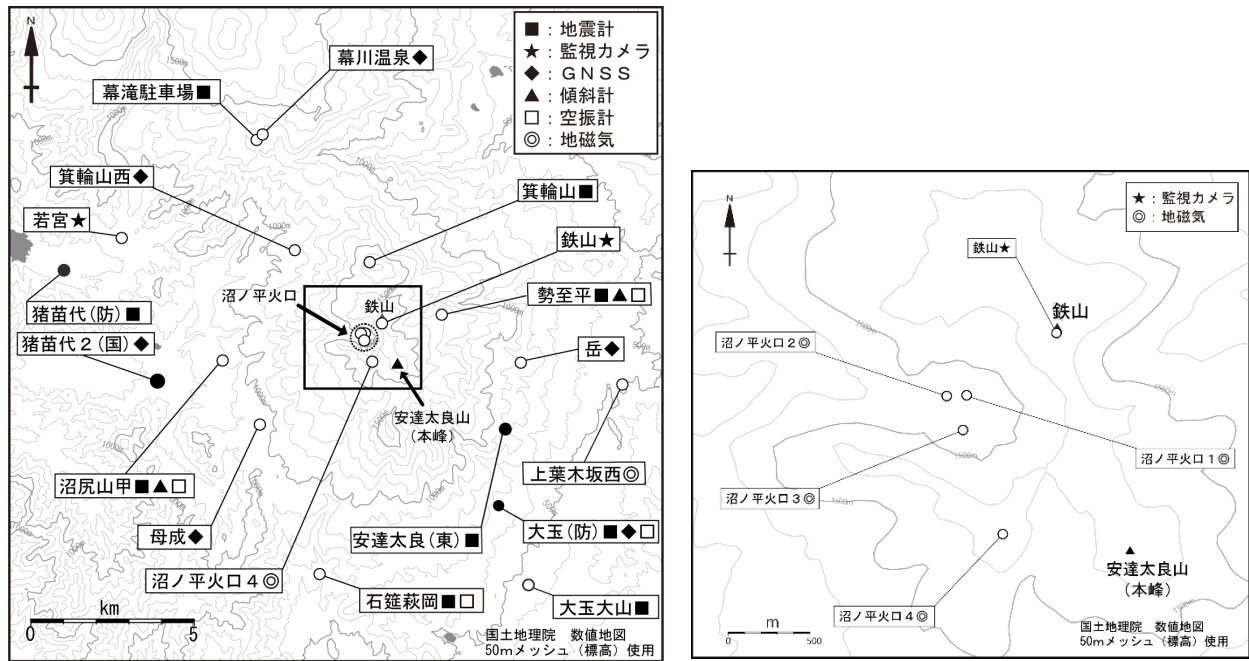


図5 安達太良山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

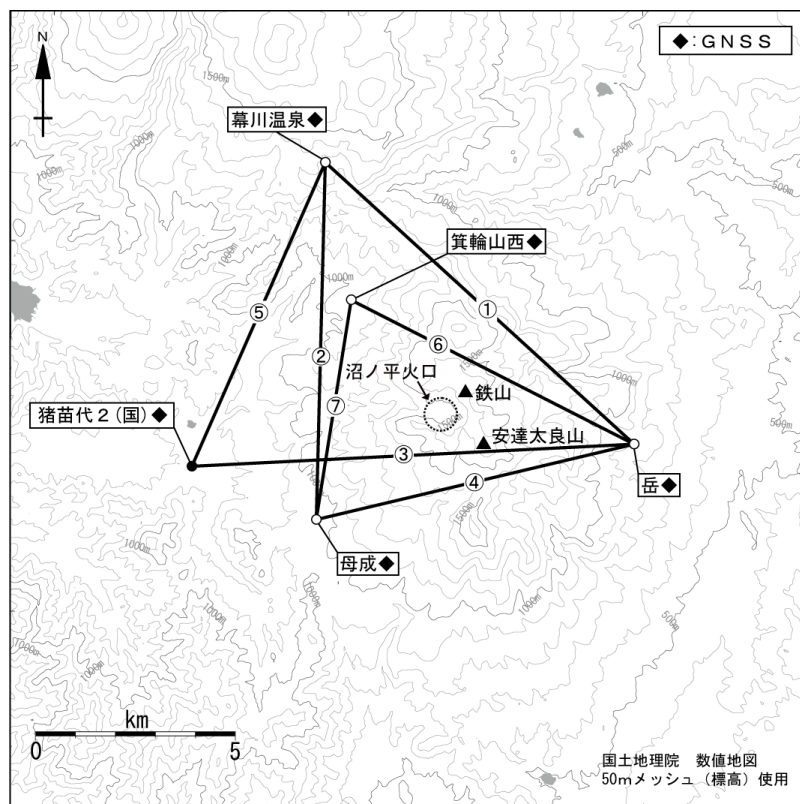


図6 安達太良山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院